

平成29年9月19日（火），日本政府の「草の根文化無償資金協力」による供与式が，香取大使とアベル・マハラモフ学長の立会いの下，バクー国立大学にて実施されました。供与式では，香取大使とアベル・マハラモフ学長がスピーチを行い，大学を視察しました。

### 「バクー国立大学日本語学科整備計画」

本プロジェクトは，バクー国立大学日本語学科の老朽化した教室3部屋を改修し，必要とされる教育用機材を整備することにより，日本語教育環境を改善し，日本語学習者の能力の向上を図るものです。GC契約は平成29年2月3日（金）に当館と「地方自治支援公共ユニオン」の間で署名され，日本政府より77,060米ドルが供与されました。

### 供与式の様子



香取大使によるスピーチ。



アベル・マハラモフ学長によるスピーチ。



除幕式。



テープカット。

## プロジェクト実施前



改修前の機材も15年前に日本政大使館から供与したもののだが、老朽化していた。



講師控え室と教室は薄いガラスの仕切りがあるだけだった。



壁の塗装が剥げかけており、窓も完全に閉まらず、冷暖房もない。

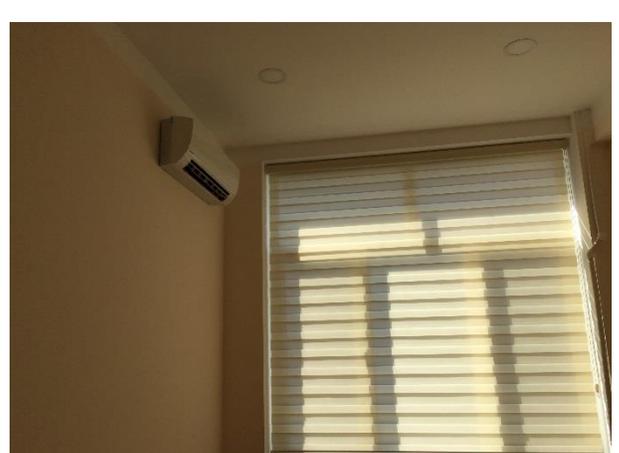
## プロジェクト実施後



改修後はAV機器が一新され、ケーブルテレビで日本の番組も視聴できる。



今回の工事によって壁が作られ、大部屋が教室と教師控え室に分けられた。



壁と窓ともに修理され、全部屋に冷暖房機能付のエアコンが導入された。